

本日のアクゾノーベル社による開示に関して

東京・クリーブランド（米オハイオ州）-本日（現地時間 5 月 27 日）、オランダのアクゾノーベル社が発表したプレスリリースで、日本ペイントグループと米シャーウィン・ウィリアムズ社（以下、「コンソーシアム」）がアクゾノーベル社の発行済み全株式（自己株式含む）を対象とする公開買付提案（以下、「本共同提案」）を実施した旨に言及したことをコンソーシアムは確認しました。

アクゾノーベル社の取締役会が本共同提案を受諾しなかったことを受けて、コンソーシアムは、今後の対応について検討を進めています。

コンソーシアムでは、2025 年 11 月 18 日に公表された、アクゾノーベル社と米アクサルタ社との株式交換による合併が、アクゾノーベル社の単独戦略に代わる選択肢として示されたことを受け、既存の合併契約の条件を踏まえつつ、アクゾノーベル社とのあり方についてあらゆる選択肢を模索、検討してまいりました。そして、コンソーシアムは、アクゾノーベル社のすべてのステークホルダーの利益を考慮し、アクゾノーベル社の取締役会に対して、現金による友好的公開買付けに関する包括的に検討された提案を共同で提出しました。本共同提案には、いかなる資金調達条件も含まれておらず、また日本ペイントグループおよびシャーウィン・ウィリアムズ社の株主承認を条件としていません。2026 年 4 月 29 日に提出された共同提案は、2026 年 4 月 16 日に提出された共同提案に続くものになります。

コンソーシアムは、アクゾノーベル社の取締役会に対し、本共同提案に関して建設的な協議を行う意向を示してまいりましたが、アクゾノーベル社より、同社取締役会が本共同提案を承諾しない旨の通知を受理しました。

本共同提案には、日本ペイントグループによるアクゾノーベル社の建築用塗料および工業用コーティング事業（「Deco 事業」）を取得し、シャーウィン・ウィリアムズ社が同社の船舶用塗料、保護・ヨット用塗料、航空宇宙用塗料および自動車補修用塗料事業、粉体塗料（「Coatings 事業」）を取得することを含んでいます。

コンソーシアムは、アクゾノーベル社のすべてのステークホルダーの利益を評価・考慮した上で、本共同提案がアクゾノーベル社の事業にとって重要な戦略的利益をもたらすと確信しています。アクゾノーベル社の Deco 事業および Coatings 事業は、いずれも強固な事業基盤を有するグローバル企業の一員となることで、追加的な経営資源および資本へのアクセスを得られます。これにより、アクゾノーベル社において、今後、各事業の持続的成長および成長の加速を実現することが可能になると考えています。いずれの組み合わせにおいても、コンソーシアムは、持続的かつ実績あるパートナーとして、アクゾノーベル社の有する歴史やアイデンティティ、事業を尊重し、戦略的な位置づけのもとで、アクゾノーベル社に明確なオーナーシップを提供します。

日本ペイントグループにとって、アクゾノーベル社の Deco 事業の取得は、建築用塗料ポートフォリオをさらに強化するものであり、Dulux ブランドのグローバルレベルでの再統合を含むとともに、主要市場における国際的な成長を加速させることとなります。

シャーウィン・ウィリアムズ社にとって、アクゾノーベル社のコーティング事業の買収は、シャーウィン・ウィリアムズ社の既存ポートフォリオを補完し、現時点ではシャーウィン・ウィリアムズ社のプレゼンスが限定的である工業用コーティング分野において、その地位を強化するものです。

今後、コンソーシアムは、適用される法令および規制に従い、適宜適切に追加情報を開示してまいります。

本共同提案において、BofA 証券は日本ペイントグループの財務アドバイザーを務め、A&O Shearman は同グループのリーガルアドバイザーを務めています。Citi はシャーウィン・ウィリアムズ社の財務アドバイザーを務め、Weil, Gotshal & Manges LLP および Stibbe は、いずれもシャーウィン・ウィリアムズ社のリーガルアドバイザーを務めています。

日本ペイントグループについて

日本ペイントグループは、塗料・塗料周辺分野において革新的なソリューションを提供するアジア 1 位・世界 4 位のグローバルリーダーです。日本に本社を置き、「株主価値最大化」を経営ミッションに掲げ、既存事業の拡大と積極的な M&A の両軸で成長する独自の経営モデル「アセット・アセンブラー」により、成長を加速させています。

今では 48 の地域で事業を展開し、強いブランド力と高品質なソリューションで、顧客へ高付加価値を提供し、各地域で市場シェアを拡大するなど、あくなき成長に挑戦し続けています。

シャーウィン・ウィリアムズ社について

1866 年創業のシャーウィン・ウィリアムズ社は、塗料、コーティング剤および関連製品の製造、開発、流通、販売における世界的なリーディングカンパニーです。施工・塗装事業者をはじめ、産業、商業、小売分野の幅広い顧客層に向けて、Sherwin-Williams®、Valspar®、HGTV HOME® by Sherwin-Williams、Dutch Boy®、Krylon®、Minwax®、Thompson's® WaterSeal®、Cabot®、Suvinil®などの著名ブランドを展開しています。米国オハイオ州クリーブランドに本社を置く Sherwin-Williams®ブランドの製品は、5,400 を超える同社直営店舗および営業拠点を通じて販売されています。その他のブランド製品については、大手量販店、ホームセンター、独立系塗料販売店、金物店、自動車関連小売店、産業用ディストリビューターなど、多様な販売チャネルを通じて提供されています。シャーウィン・ウィリアムズ社のパフォーマンス・コーティング・グループは、建設・建築、海洋・産業、物流、包装市場向けに、高度な技術を活かした幅広いソリューションを世界 120 カ国以上で提供しています。S シャーウィン・ウィリアムズ社の株式は、ニューヨーク証券取引所（NYSE: SHW）に上場しています。詳細は公式ウェブサイト（<https://www.sherwin-williams.com/>）をご覧ください。

本件に関する問い合わせ先

日本ペイントホールディングス株式会社

メディア問合せ先 株式会社 KRIK（広報代理）
越田 稔
m-koshida@krik.co.jp
TEL 070-8793-3990

杉山 理恵
r-sugiyama@krik.co.jp
TEL 070-8793-3989

IR 問合せ先 執行役員
インバスターリレーション部長
サステナビリティ部長
広報部長 田中 良輔
(TEL 050-3131-7419)

シャーウィン・ウィリアムズ社

メディア問合せ先 Stephen Cohen
Senior Managing Director, Teneo
stephen.cohen@teneo.com
+1 347 489 6602 (direct)

IR 問合せ先 Jim Jaye
Senior Vice President, Investor Relations & Corporate
Communications
investor.relations@sherwin.com
+1 216 515 8682 (direct)

Eric Swanson
Vice President, Investor Relations
investor.relations@sherwin.com
+1 216 566 2766 (direct)

本共同プレスリリースは、オランダ金融監督法に基づく公開買付けに関する政令（Besluit openbare biedingen Wft）第4条第3項、欧州市場濫用規則（規則（EU）596/2014）第7条第1項、ならびにオランダ金融監督法に基づく公開買付けに関する政令第5条第2項に従い公表されています。

将来予想に関する注意事項

本リリースには、米国証券法の意味における将来予想に関する記述が含まれています。これらの将来予想に関する記述は、「believes（～と考える）」、「expects（～と予想する）」、「may（～する可能性がある）」、「will（～する予定である）」、「shall（～するつもりである）」、「should（～すべきである）」、「would（～するだろう）」、「could（～し得る）」、「potential（潜在的な）」、「seeks（～を目指す）」、「intends（～する意図である）」、「plans（～を計画する）」、「estimates（～と見積もる）」、「anticipates（～を予期する）」といった将来予想を示す用語、またはこれらに類する表現もしくは否定形の使用によって識別される場合がありますが、すべての将来予想に関する記述にこれらの識別語が含まれているわけではありません。本コミュニケーションにおける将来予想に関する記述には、これらに限定されないものの、日本ペイントグループによるアクゾノーベル社の一部事業買収の可能性、シャーウィン・ウィリアムズ社によるアクゾノーベル社の一部事業買収の可能性、これらの取引によって期待される利益および戦略的根拠、コンソーシアムがアクゾノーベル社の取締役会と協議に入る意思または意向、当該取引の想定される範囲および構造（シャーウィン・ウィリアムズ社による特定事業の取得提案を含む）、ならびに本共同提案がアクゾノーベル社とアクサルタ社との既存の合併契約の条件の下で、より優れた提案（superior proposal）に該当するか否かに関する事項が含まれます。

これらの将来予想に関する記述に過度に依拠しないようご注意ください。将来予想に関する記述は、現時点における計画、見積りおよび予想に基づいており、リスク、不確実性および前提条件を伴うものです。これらのリスクや不確実性のいずれかが顕在化した場合、または基礎となる前提が誤っていた場合には、実際の結果が当該将来予想に関する記述において示された、または予想された内容と大きく異なる可能性があります。

実際の結果がかかる計画、見積りまたは予想と大きく異なる要因には、以下が含まれますが、以下のみに限定されたものではありません。アクゾノーベル社が本共同提案に関する協議に応じる意思の有無、コンソーシアムがアクゾノーベル社と受入可能な条件で最終契約を交渉・締結できる能力、またはそもそも締結できるか否か、デューデリジェンスの結果およびその時期、アクゾノーベル社とアクサルタ社とのマッチング権、解約手数料、その他本共同提案の実現可能性、時期または条件に影響を与える可能性のある条項等を含む既存の合併契約条件、本共同提案がより優れた提案（superior proposal）に該当するか否かに関するアクゾノーベル社の判断、関係各国の政府当局から必要な規制当局の承認を取得できるかどうか、ならびに当該承認に付される条件、時期または是正措置、コンソーシアムが当該取引を調整し実行する能力、競合する提案や買収提案が提示される可能性、一般的な経済・市場および業界の状況、ならびにシャーウィン・ウィリアムズ社が米国証券取引委員会（SEC）に提出した最新の年次報告書（Form 10-K）およびその後の四半期報告書（Form 10-Q）に記載されたその他のリスクおよび不確実性が含まれます。

コンソーシアムはいずれも、アクゾノーベル社を取得するための拘束力のある提案を行う、またはそれに参加するといういかなる決定も行っておりません。いかなる取引についても、提案がなされるか、当事者が最終契約を締結するか、またその条件または時期についても、何ら保証するものではありません。

コンソーシアムは、当該将来予想に関する記述が将来の業績や結果を保証するものではないことから、これらに過度に依拠しないよう注意を喚起します。適用法令で要求される場合を除き、シャーウィン・ウィリアムズ社、日本ペイントグループおよびそれぞれの関連会社はいずれも、新たな情報、将来の事象その他の理

由の如何を問わず、本リリースに含まれるいかなる将来予想に関する記述についても更新または修正する義務を負いません。

さらに、本リリースは、有価証券の購入申込みまたは売却申込みの勧誘を構成するものではありません。本リリースは、提案される取引に関連してアクゾノーベル社の証券保有者に提供される可能性のある委任状説明書、公開買付届出書、またはその他の書類に代わるものではありません。アクゾノーベル社の投資家および証券保有者の皆様におかれては、これらの書類が入手可能となった場合には、提案される取引に関する重要な情報が含まれますので、その内容を十分にご確認いただくよう強くお勧めします。